

名前

社会科ふるさと松山（上）（p70～p84）を見ながら、問題を解いてみましょう。

★ 火事を早く消すしくみ

- ① 「火事が起きた」というれんらくをするときは、どの番号にかければいいでしょうか。また、そのれんらくはどの場所につながるのでしょうか。（p70）
- 番号（**119**番）場所（**（松山市消防局）通信指令室**）

- ② 消ぼう団とは、どんな人たちのあつまりでしょうか。（p71）

ふだんは自分の仕事をしているが、火事の知らせがあると、すぐにかけつけ、消ぼうしの人といっしょに火を消す人たちのあつまり

- ③ 消ぼうしの人たちは、火事にそなえて、ふだんからどんなことをしているのでしょうか。6つ書きましょう。（p72）

（**人を助ける訓練**）（**消ぼう自動車の点検**）

（**ぼう火のよびかけ**）（**消火器の使い方のたしかめ**）

（**消火せんの点検**）（**消防設備士の点検**）

- ④ 町には消火せんやぼう火水そうのように、いろいろな消ぼうしせつがあります。そのわけを書きましょう。（p72 下から4行目あたり）

例 どこで火事が起きても、すばやく消火活動にあたることができるから（火事が起きた時のすばやい消火活動やそれらをいしきたまちづくりについてかかれていれば○）

- ⑤ 松山市では、火事にそなえて、公園や緑地をつくったり、道路を広げたりしています。なぜそのようにしているのでしょうか。(p 73 上から10行目あ

例 となりあった建物に火がもえひろがらないようにしたいから。
火事が起こりにくいまちにしたいから。
消防車などがすばやくかけつけ、すぐに消火活動を行えるようにしたいから。 など

- ⑥ 火事をふせぐために、今のあなたにできることには、どのようなことがあるでしょうか。自分で考えて書きましょう。(p 75 参考)

例 大人の人がいなときは火を使わない。
燃えやすいものを火の近くにおかない。
子どもだけで花火をしない。
少年消防クラブの活動に参加する。
ぼうさい訓練をする。
ぼう火ポスターを作る。 など

★事こや事けんからくらしを守る

- ① 交通じこを110番で知らせると、電話がつながる場所はどこでしょう。

(p 77 110番の伝わるしくみの図を見て答えましょう。)

場所(**(けいさつ本部) 通信指令室**)

- ② 松山市では、自転車の事こを少なくするために、安全講習を受けた3年生に自転車めんきょしょうをくばっていますが、自転車に乗るときに、気をつけるべきことは何か、自分で考えて書きましょう。

例 ヘルメットをかぶる。
飛び出しをしない。
左側を走る。
自分の高さにあった自転車に乗る。
スピードを出しすぎない。
手放し運転をしない。
交通ルールを守る。
暗くなったらライトをつける。 など

- ③ 交通じこをへらすために、道路のようすを調べたり、交通じょうほうを流したり、しれいをだしたりしている場所はどこでしょう。(p 79)

場所 (**交通かんせいセンター**)

- ⑤ 国や県・市でも、けいさつの人たちと力を合わせて、しせつや設備を整えています。どのようなものがあるか6つ書きましょう。(p 80)

(**コミュニティー道路**) (**標識**)

(**歩道橋**) (**自転車せん用道路**)

(**カーブミラー**) (**ガードレール**)

- ⑥ けいさつの人の仕事にはどのようなものがありますか。83ページの図を見て7つ書きましょう。

(**おとしものを受けつける**) (**道を教える**)

(**変わったことがないか、家をたずねる**) (**まいごのせわをする**)

(**夜も町を見回る**) (**交通整理をする**)

(**悪いことをした人をつかまえる**)

- ⑦ けいさつの人たちはわたしたちのくらしを守ってくれていますが、わたしたちも自分ができることをすることが大切です。どんなことができるでしょうか。

(例 登下校は1列できちんと歩く・・・など)

例 登下校は1列できちんと歩く。
下学年に登下校のきけんな場所を伝える。
安全マップを作る。
家のとじまりをしっかりとする。
交通事故にあわないように交通ルールを守る。
きけんな場所で遊ばない。
きけんな遊びをしない。

など